



滋賀短期大学 学報

2024. 7. 1

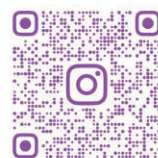
No. 92

CONTENTS

- [理事長・学長メッセージ/P2]
- [特集1 / 学科再編ー進化した学びへー/ P3]
- [令和5年度卒業式、令和6年度入学式、学長懇談会/P4]
- [令和6年度フレッシュマンセミナー/P5]
- [各学科の紹介・活躍する卒業生/P6~7]
- [特集2 / 滋賀短期大学 3つのサポートセンター/P8]
- [新任教員・退職教員ごあいさつ/P9]
- [学生自治会、強化クラブの活動/P10]
- [同窓会だより、後援会の活動/P11]
- [令和5年度教育研究・社会活動/P12~P13]
- [就職状況/P14]
- [令和5年度決算・財務状況報告/P15]
- [私の青春時代、学内情報/P16]



滋賀短期大学 公式
Instagram



SHIGATAN1970

表紙は、令和6年5月に完成した「里山教室」(記事P16)。



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 紀要・図書委員会
電話 (077) 524-3605

ホームページアドレス <https://www.sumire.ac.jp/tandai/>



バージョンアップする 滋賀短へ

純美禮学園理事長
滋賀短期大学学長

秋山 元秀



すでに皆さまもご承知と思いますが、短期大学という高等教育のかたちが危機に瀕しています。戦後に新しい高等教育の制度ができて、学校教育法の制定により、昭和23年から新制大学が発足し、その後昭和25年に短期大学の設置が認められてからは、当初は4年制大学より短期大学の数が上回り、平成8年には598校を数えました（その時4年制大学は576校）。しかしそれから短期大学は減少をはじめ、平成10年には短期大学と4年制大学の数が逆転しています（短期大学588校、4年制大学604校）。いま令和5年では4年制大学は816校を数えるのに対し、短期大学は305校に減っています。短期大学の学生数もピーク時、平成5年には53万人もいたのが、いまは8万7千人余と大幅に減っています。

少子化で18歳人口が減少傾向にあるといっても、それ以上に短期大学への入学者が減っているのが現状です。そのため、近畿でも早くに開設された老舗の短大で、募集停止を決められたところが続出しています。池坊、武庫川女子、奈良佐保等々、ほかにも出てきそうです。また4年制大学も決して安泰ではありません。短期大学を襲っている危機は、大学全般が受け止めなければいけないものだと思います。

こんな時だからこそ、私たち滋賀短は何としてでも活気のある短期大学としてしっかり生き残っていく方策を立て

なければなりません。いったい短期大学という教育のありかたは時代遅れでもう役に立たないものなのでしょうか。2年間でいろいろな資格や免許が取得、それを活用していち早く社会人として活動し、自分の夢をかなえることができること、少人数で教職員との距離も近く、きめ細かい一人一人の個性に応じた教育が受けられること、4年制大学に準じた専門と教養の両方の力を身につけられること、経済的に4年制大学はもちろん専門学校に比べても“お得”であることなど、短期大学ならではのメリットがたくさんあります。しかしその長所が、高校生にうまくアピールできていないのではないかと危惧しています。

そこで滋賀短は、来る令和7年度から大きくバージョンアップをすることにしました。いまある4学科のうち幼児教育保育学科以外の3学科をまとめて新しいデジタルライフビジネス学科とし、その中に食健康、製菓マイスター、総合医療事務、デジタルビジネスの4コースを置きます。幼児教育保育学科と合わせて「滋賀短の5つの学び」としてアピールしていきたいと思っています（詳細はP3参照）。この学科再編は、決して滋賀短の学びを縮小するものではなく、これまでの伝統を活かすとともに、新しい時代や地域の要請に適切に応えていく滋賀短V2.0としてとらえてください。皆さまのご期待に沿えるように進化する滋賀短V2.0をぜひ応援してください。

進化

4学科から5つの学びへ

令和7年4月、学科改組を行います。

2025年4月学科改組・届出済
改組計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

【特集1】
Feature

1

シガタンは新たなステージへ ～進化した学びへ～

創立54年を迎える滋賀短期大学は、令和7年4月から2学科5つの学びへ進化いたします。

生活学科とビジネスコミュニケーション学科の学科等連係課程実施学科として令和4年にデジタルライフビジネス学科を開設しました。その目的をより広範に実現し充実させるため、3学科の中核部分を受け継ぎつつ発展した新しいデジタルライフビジネス学科が誕生し、幼児教育保育学科との2学科制となります。

新しい学科には4つのコースをおきます。食健康コースや製菓マイスターコースはこれまでの生活学科での専門分野、総合医療事務コースやデジタルビジネスコースはこれまでのビジネスコミュニケーション学科やデジタルライフビジネス学科での専門分野を継承し、高度なデジタル社会の中で活躍できる人材育成をめざして各コースでの学びがさらに進みます。

幼児教育保育学科も、「子どもの表現コース」と「子ども理解コース」の2コース制（2回生で選択）により学生一人ひとりの保育力を高め、新しい時代に適した実践力を身につけられるよう教育内容をアップデートいたします。

これまでに培ってきた学びを受け継ぎながら、学生一人ひとりの得意分野を伸ばし、それぞれの夢を実現するための5つの学び。各分野の専門性を高め、Society5.0に対応する能力を身につけられるよう進化していきます。シガタンの新たな取り組みに、ぜひご期待ください。

5つの学びを2学科体制で



デジタルライフ
ビジネス学科
食健康
コース



デジタルライフ
ビジネス学科
製菓マイスター
コース



デジタルライフ
ビジネス学科
総合医療事務
コース



デジタルライフ
ビジネス学科
デジタルビジネス
コース



幼児教育保育学科
子どもの表現コース
子ども理解コース

滋賀短期大学

令和5年度卒業式・卒業記念パーティー

3月15日（金）、本学体育館において、令和5年度の卒業式が執り行われました。コロナ禍の最中にマスクを着けて入学した学生たちでしたが、この日は晴れやかな笑顔を見せてくれました。239名が努力の証である卒業証書を手し、本学を巣立っていきました。

卒業式の後には、大津プリンスホテルで、4年ぶりの卒業記念パーティーが開催されました。学生自治会が盛大なパーティーを企画し、多数の卒業生と教員が、立食、歓談、ビンゴ大会、写真撮影等を楽しみ、別れを惜しましました。



令和6年度入学式・新入生オリエンテーション

4月2日（火）、大津市民会館大ホールで、令和6年度の入学式が挙行されました。今年度は4学科に242名の新生を迎えました。

秋山元秀学長は、式辞の中で、「身近なことに限らず、外国の社会などにも関心を持ち、自分にできることは何かをこれからの勉強を通して考えてほしい」と述べ、新入生を鼓舞しました。

入学式に続いて、同ホールで新入生・保護者合同オリエンテーションが実施されました。新入生は、沖山副学長から建学の精神「心技一如」について学んだ後、学生生活や大学の授業等について説明を受け、本学学生としての第一歩を踏み出しました。



学生と学長との懇談会

毎年5月から6月にかけて実施している懇談会です。今年度も学生自治会執行部から始まり、4つの学科からは1・2回生合わせて10名ほどが参加して学科ごとに、最後は留学生と、計6回の懇談会を実施しました。

昼休みの時間を利用して軽食をとりながら、大学生活の様子や日頃感じていること、大学への要望など忌憚のない様々な話を聞くことができました。

この懇談会は学生目線での意見や要望などを聞くことができる貴重な機会であり、他の短大でもあまり例がないとのこと、とても意義のある懇談会だと考えています。

参加してくれた学生も、日頃接する機会の少ない学長と直接会話ができる貴重な機会になったのではないかと考えています。



令和6年度フレッシュマンセミナー・キャリアセミナー

4月5日（金）、びわ湖大津プリンスホテルにて新入生対象のフレッシュマンセミナーを開催しました。前半は学生自治会によるクラブ・サークル紹介やテーブルマナー講習を受けながらのフランス料理の会食、後半は学科ごとにキャリアセミナーを実施しました。緊張の面持ちで始まりましたが、終盤にはずいぶん打ち解けた雰囲気になりました。

生活学科

生活学科 講師 山岡 ひとみ

生活学科のキャリアセミナーについて

生活学科のキャリアセミナーは、学生同士、教員との親睦を深めること、資格や仕事内容についての学びを得ることを目的に行っています。セミナー内容は、『人間椅子』と『先輩に学ぶ』です。アイスブレイクでは、人が人の上に座るといふ『人間椅子』をしました。ジェスチャーで誕生日順に輪になり、1歩ずつ歩きました。お互いに支え合うので緊張がほぐれ笑い声が聞こえてきました。『先輩に学ぶ』では、助手の岡田香織さん（栄養士）と堀口真美さん（製菓衛生師）から、資格の仕事内容や在学中に取り組んだことなどを話してもらいました。学生からの質疑応答があり、資格や仕事内容についての理解が深まった様子でした。



幼児教育保育学科

幼児教育保育学科 准教授 松村 都子

「ともに…はじめの一歩」

幼児教育保育学科のフレッシュマンセミナーは、園現場の馴染みの遊びで、体を動かし声を出し、心を開放していくことで、学生がともに学ぶ同士として繋がっていくことを願って開催しました。

“願望自己紹介”で互いの名前を覚え、みんなで踊る“誕生月仲間”のオープニングから、“♪明日も元気で”と明日への希望につなぐエンディングまでの流れの中で、10の遊びを紹介してくれたのは頼もしい2年生15名です。先輩たちのサポートで、タイトルのように、みんなが一緒に、よい「ともに…はじめの一歩」を踏み出すことができました。そして、何より先輩の活躍を見て、「すごい!」「1年後はこんなふうになれるかな」と、これからの学びや1年後の自分に期待をもつことにもつながりました。

大学は自分の学びたいことを学ぶ場です。さあ、ともに、学びを始めましょう!



ビジネスコミュニケーション学科・デジタルライフビジネス学科

デジタルライフビジネス学科 特任講師 仲村 恭子

ビジネスコミュニケーション学科デジタルライフビジネス学科の合同キャリアセミナーについて

4月5日大津プリンスホテルにてビジネスコミュニケーション学科とデジタルライフビジネス学科合同でキャリアセミナーを行いました。新入生同士の親睦を深め、円滑に学生生活をスタートさせることを目的に行われた、この学科別オリエンテーションでは、まず始めに名刺交換を行いました。



交換の作法や、マナーのレクチャーを受け、初

めての自分の名刺に緊張しながら、学生同士名刺交換をしてから自己紹介を行いました。回数を重ねるごとに徐々に緊張もほぐれ、学科を超えて様々な学生同士がコミュニケーションをとることができ、アイスブレイクとして、とても楽しい時間となりました。次に行ったオフィス用品のビンゴでは、クラスごとにチームに分かれて、オフィスで使われる文房具やオフィス用品を話し合っカードに埋め、ビンゴゲームを楽しみました。学生同士はもちろん教員とも親睦を深めるよいきっかけとなり、学生の感想にも、今後の学生生活が楽しみになったとの声が多くみられました。

生活学科

生活学科では、食で社会に貢献できる人材の育成を目指し、2つのコースを設置しています。
製菓・製パンコースは、講義や豊富な実習を通して理論と実践的な技術を修得し、菓子や食品製造の現場において活躍できる製菓衛生師を目指します。
食健康コースでは、食と栄養の専門家として人々の健康づくりに貢献し、地域の伝統的な食文化を継承できる栄養士を目指します。

◆人も食も自然が育てる 食健康コース 平成31年3月卒業生 松下 珠千さん（つくし保育園勤務／栄養士）

私は、保育園の給食業務に就いて6年目になる栄養士です。一日の初めは経節で出汁をとることから始まります。登園してきた子どもたちを暖かく迎えてくれるつくし保育園の香りです。給食を作るうえで大切にしていることは大きく分けて3つあります。一つ目は安心安全で体に優しいこと。二つ目は旬の食材と素材を活かした味付け。三つ目は給食の時間が楽しみになる工夫をすることです。旬の食材を使うことは、おいしさはもちろんのこと栄養価も高く、食べ物から子ども達が季節を感じとることに繋がります。

給食はただ提供するだけではなく、子ども達と一緒に作って食べることを大切にしています。朝から子ども達と玉ねぎの皮剥きや落のスジとりなど季節でさまざまなお手伝いをしてもらったり、時には丸ごとの鮭を目の前で捌いて命をいただくことを感じる経験などもしています。初めは一つしか剥けなかった玉ねぎが一週間後には夢中で六個も剥けるようになったりと職種を超えて保育士と一緒に子ども達の日々の成長を見守っています。

天気のいい日には、園庭にかまどを出して羽釜でごはんを炊いたり、炭火で魚を焼きます。子ども達にとって、火はとても魅力的でかまどのまわりを囲むように自然と人が集まってきます。澄んだ青空の下でみんなで食べる給食やおやつは格別です。太陽の日差しを浴びながらどろんこ水遊びなどいっぱい遊んで、お腹いっぱい給食を食べて、お昼寝がぐっすりできるようにと子ども達の健やかな成長を願って務める毎日です。



ビジネスコミュニケーション学科

◆短大時代の学びが 仕事に役立っています

医療事務コース
令和5年3月卒業生 藤田 美桜さん（滋賀県医師会勤務）

私は現在、滋賀県医師会の事務職員として働いています。仕事内容はデスクワークが中心ですが、電話対応（医療機関や一般の方からの問い合わせ）をはじめ、来客の対応、国や県の施策の周知、会議・研究会の企画など多岐に渡ります。

短大時代に医療事務コースで学んだ医学的な基礎知識をはじめ、ビジネスマナーやパソコンスキルの実践的な学びは、今の仕事に繋がっていると実感する場面がたびたびあります（学生時代にもっと深く学んでおけば良かったと思うことも同じくらいたびたびです）。

この春から2年目に入り、早く一人前になるためにまだまだ奮闘中です。私宛の電話やメール、郵便が増えるようにするのが目下の目標です（笑）。



◆責任感をもって 前向きに取り組んでいます

ビジネス実務コース 左:令和5年3月卒業生 大川 莉奈さん、
右:令和6年3月卒業生 藤本 紫さん（草津電機株式会社勤務）

大川は昨年、藤本は今年度の入社です。大川は主に秘書業務、具体的には、役員の方のスケジュール管理や出張の手配、来客や電話対応などを担当しています。業務では短大の秘書実務で学んだ内容やExcelやWordのスキルが役立っています。また、ボランティア活動への参加は、様々な年代の方々とコミュニケーションをとるうえでの自信となっています。最近、指示される前に自ら行動できるようになり、やりがいを感じるようになりました。藤本は現在研修中です。2週間の座学の後、10週間で製造から間接部門までの様々な部署で1週間ずつの研修があり、学報が届くころには配属先が決まっています。会社から頼もしい存在と言ってもらえるよう、業務に対して責任感を持って前向きに取り組んでいきたいと思っています。



幼児教育保育学科

毎年1月に専門演習報告会を実施しています。
各自研究の成果を発表します。

幼児教育保育学科では、
1回生95名、2回生73名、合計168名が
保育士や幼稚園教諭を目指して勉学に励んでいます。
保育実習、施設実習、教育実習が2年間の中で行われ、
大変忙しいですが、充実しています。
それぞれ目標や夢を持って学生生活を有意義に過ごしています。
また、2回生からは専門演習が始まりました。
自分が学びたいこと、研究したいことのゼミに
それぞれ所属し1年間取り組んでいます。
保育者として自分の強みを獲得してくれることを願っています。



◆子どもと一緒に成長できる仕事

昨年度に滋賀短期大学を卒業し、今は大津市で公務員として幼稚園教諭（3歳児担任）をしています。仕事が大変な時もありますが、子どもたちに元気をもらいながら楽しく保育をしています。幼稚園教諭は、日々子どもたちの新しい姿に出会い、そこから自分自身も色んなことを学び、成長できる仕事だと改めて感じています。在学中に学んだことを活かしながら、これからも子どもたちと一緒に成長していきたいと思ひます。

令和6年3月卒業生
奥澤 蘭さん
(大津市立志賀南幼稚園勤務)

志賀南幼稚園で、
子どもとともに成長している
奥澤 蘭さん。
これからも頑張ってください!



デジタルライフビジネス学科

◆お客様の笑顔や喜びに 繋がることに喜びを感じています

令和6年3月卒業生
中川 美咲さん (パセリエンタープライズ(株)勤務)

私は現在、パセリハウスピバシティ彦根店のスタッフとして勤務しています。仕事内容は届いた荷物の検品、品出し、売り場作りやPOP作りなど様々な業務を担当しています。時にはお客様と一緒に贈り物を選んだりするのでお客様のニーズを汲み取り、商品を提案する力も求められます。私は、自分の考えがお客様の笑顔や喜びに繋がるという所にとってもやりがいを感じています。



◆短大で学んだ知識を基盤に、さらに 大学で起業を目指して学び続けています

令和6年3月卒業生
天野 翔さん (京都産業大学経営学部マネジメント学科3年)

私は現在京都産業大学に編入し、経営学を学んでいます。起業するための学びや法律の知識を習得するために毎日勉強をしています。滋賀短期大学で培ったコミュニケーション能力と経営学の知識を活かし、将来的には自身のビジネスを立ち上げたいと考えています。新たなアイデアを形にし、社会に貢献することを目指して、日々学び続けています。



滋賀短期大学 3センターの学生サポート —入学から卒業後まで—

キャリア・サポートセンター

令和6年4月からキャリア・サポートセンターは、玄関ホール左側の事務室に移動し、事務局次長兼キャリア支援課長 中村 治重 教職員8名で業務にあたっています。

センターでは、各学科の教員と学生情報を共有し、学生一人ひとりの個性と適性を見極めたキャリアカウンセリングや履歴書添削、面接練習等のサポートをしております。また、地域企業とのパイプを活かした学内説明会の開催、社会で必要となる力を身につける各種資格支援講座や公務員模擬試験などを実施しています。教職員が一丸となってサポートをしておりますが、社会人として自立するという自覚については、時間をかけて育てていくことが重要です。保護者の皆さまと大学が一体となって学生の自立を目指し、支えてまいりたいと思います。より一層のご理解とご支援をよろしくお願いたします。なお、卒業後も在学中と変わらずにセンターをご利用できますので、気軽にお立ち寄りください。



〈お問い合わせ先〉滋賀短期大学キャリア支援課 Tel:077-524-3644 FAX:077-523-5124 メールアドレス:tsyusyoku@sumire.ac.jp

キャンパスライフ・サポートセンター



学生支援課（保健室） 安井 綾子

キャンパスライフ・サポートセンターは、玄関ホール左側の扉を開けた部屋にあります。センターでは、各種奨学金の案内や学生自治会、クラブやサークルといった課外活動のサポートはもちろん、勉強や心と身体の健康に関することも含めた困りごとや悩みについて相談ができる学生相談室を併設しています。つまり、センターは“なんでも相談窓口”です。専門の資格を持ったカウンセラーも勤務しており、週に3日（月・水・金曜日11～17時）、困っていることや悩みをカウンセラーにゆっくり聞いてもらうことができます。充実した学生生活を送れるよう、学生の皆さんは困ったことや悩みがあれば気軽にセンターを訪ねてください。

ラーニング・サポートセンター

未来は、わたしたちの手に！

ラーニング・サポートセンターは、3号館1階の入り口すぐのところにあります。4学科の教員が、授業内容やレポートに関する質問はもちろん、資格のための勉強や、公務員試験、履歴書作成、面接・集団討論対策などの就職関係の勉強など幅広い分野でみなさんの学びをサポートしています。本年5月からは、教職員がいなくても自由にセンターを利用していただけることになりました。自習室として気軽にご利用ください。PC専門サポーターも常駐しておりますので、パソコンの設定、Word、Excel、PowerPointなどについても聞いてください。

学ぶことは、皆さん自身の成長につながります。そして皆さんは、将来誰かの役に立ち、世の中をより素晴らしいものにすることができます。まさに、未来は、わたしたちの手にあるのです！

ラーニング・サポートセンター長 江見 和明



新任教員ごあいさつ



滋賀県の魅力を伝えることができる栄養士、製菓衛生師へ

生活学科 教授 濱田 尚美

食材が豊富な滋賀県において、栄養士、製菓衛生師養成に携わること喜びとやりがいを感じ、生活学科に着任いたしました。学生の皆さんが「食」を通して人々に関わり、滋賀県の魅力を伝えることができる「食」の専門家として将来の夢を実現できるように、本学での学びをサポートしていきます。どうぞよろしくお申し上げます。



充実した学生生活を

生活学科 助教 白木 理恵

今年度よりご縁がありまして生活学科に着任いたしました。私自身、学生時代から滋賀県に住み始め、この地で栄養士の養成に携われることを大変うれしく思います。学生の皆さんが充実した学生生活を送れるようサポートしていきます。そして、学生の皆さんと共に成長していけるように精進していく所存です。よろしくお申しいたします。



思いをカタチに!!

デジタルライフビジネス学科 特任講師 仲村 恭子

今年度より、附属高校より異動し、ビジネスライフデザイン学科の特任講師として着任いたしました。服作りやハンドメイドなどのものづくりを通して、思いやアイデアがカタチになった瞬間の達成感や喜びを、学生の皆さんとともに共有できることをとても嬉しく思っています。どうぞよろしくお申しいたします。



機会をいただき感謝しています

幼児教育保育学科 特任助教 佐々木 瞳

社会福祉を専門として幼児教育保育学科に加わらせていただきました。地域の子どもや家庭と出会う中で多様な暮らしの背景がみえる現場、あるいは、支援を要する子どもや家庭に寄り添う現場に向かう学びをご一緒できることが大変嬉しいです。私自身は、まずは先生と呼ばれるに相応しい中身を培えるよう努力いたします。

退職教員ごあいさつ

退職のごあいさつ

生活学科 教授 笹倉 千佳弘

滋賀短期大学在職中は、学生のみなさんと教職員のみなさんに恵まれ、とても楽しい学園生活を送ることができました。若い頃は、定年退職をする自分の姿が想像できませんでした。しかし実際にその年齢になってみると、これまでと少しも変わらないことがわかりました。特に仕事の中心にしている調査研究は、これからも可能な限り続けていくつもりです。最後になりましたが、滋賀短期大学の今後のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

退職にあたって

生活学科 特任助教 豊岡 真莉

7年間お世話になりました。入職時は大学卒業後間もなく、期待よりも不安が圧倒的に大きい状態でした。未熟な自分を反省する毎日でしたが、先生方や職員の皆様に支えていただきやりきることができました。ありがとうございました。学生たちの貴重な「成長の2年間」を教員の立場から一緒に過ごすことができたこと、非常に嬉しく思います。滋賀短期大学のさらなるご発展と皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

退職にあたって

ビジネスコミュニケーション学科 特任准教授 菟 寛美

2年間お世話になりました。琵琶湖の見える良い環境で、明るく素直な学生さんたちと一緒に学習できたことは、私自身にとって大きな学びとなりました。毎回の授業で元気をもらうことができました。また素晴らしい教職員の方々に支えられて日々過ごせましたこと感謝いたしております。

大変貴重な経験をさせていただきました。その経験を今後に生かせば存じます。滋賀短期大学の益々のご発展と、皆様のご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。

7年間大変お世話になりました。

先生方、職員の皆様には温かいご指導やサポートしていただきありがとうございました。

そして、学生のみなさんと一緒に色々な作品を楽しく制作することができたこと嬉しく思っています。

家庭生活に関する専門科目(衣服)を中心にほぼ全部の関連科目を担当させていただき、私自身がたくさんの学びを得ることができました。

生活学科ライフデザインコースが休止、再開、その後新たにデジタルライフビジネス学科でパワーアップしましたが、時代のニーズに伴いライフデザインコースが廃止になることはとても残念で悲しく感じております。松村裁縫速進教授所の伝統を担当科目でお伝えしてきましたから、滋賀短期大学の伝統科目として何かしら科目を残していただきたいと願っております。

滋賀短期大学の益々のご発展とみなさまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

退職のごあいさつ

生活学科 講師 灰藤 友理子

助手として3年、教員として6年半お世話になり、9月30日をもちまして退職いたしました。この9年半で公私ともに教職員の皆様や学生たちたくさん支えていただきました。こんなに人の成長を見守り、幸せを願い、応援できる仕事に就けたことを嬉しく思っております。これからも真摯に学び続ける大切さを胸に頑張ります。

末筆ながら皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

保育者に、なりたいからなれるに

幼児教育保育学科 准教授 三上 佳子

幼稚園関係に勤務した後、ご縁があって、本学で、保育者を目指す学生達や教職員の皆様とお出会いし、かけがえのない時間を過ごすことができました。学生からは、色々な思いを抱えながらも、前向きに取り組んでいる姿に勇気をもらいました。改めて保育者になりたいという学生の意思を、どうサポートし、なれるという意志につながるようになっていくのが大切だと感じました。大変お世話になり、ありがとうございました。皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

退職のごあいさつ

ビジネスコミュニケーション学科 特任助教 清水 美里

3年間大変お世話になりました。新たな学びや気づきの多かった、非常に充実した3年でした。毎日学生の明るく元気に勉学に励む様子に元気をもらいながら、非常に楽しく教鞭を取ることができました。教職員の皆様のご支援のおかげで充実した時を過ごすことができました。ここに感謝申し上げます。最後に学園の発展と教職員皆様のご活躍をお祈りしてご挨拶させていただきます。ありがとうございました。

デジタルライフビジネス学科 特任講師 河村 梨花

学生自治会について

精力的に活動中です!

学生自治会 会長 曾我 望愛(ビジネスコミュニケーション学科 2回生)

学生自治会執行部は在学生のみなさんの学生生活を充実したものにするため日々活動しており、今年度は2回生7名1回生15名と例年よりも大所帯で活動しています。

ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響により多くの行事が中止、あるいは規模縮小で行われていましたが、昨年度からは行事の復活や、新たな行事を企画・実施することで自治会活動にも徐々に勢いが戻ってきました。

昨年初めて実施したボウリング大会では、1・2回生合わせて30名ほどの学生が参加してくれました。初めての試みでしたが、とても盛り上がり実施してよかったと思いました。

学生総会も従来の対面形式で行うことができました。学生総会では自治会の活動内容等が報告され、加えて純美禮祭についても活発な議論が交わされ有意義な時間となりました。

その純美禮祭は、大きな盛り上がりを見せました。コロナ禍ではオンライン実施や入場制限など様々な制約を設けていましたが、昨年度は在校生による飲食模擬店の実施を行うなどコロナ禍前の形式で実施することができました。有志によるダンスやバンド演奏を始め、外部からのゲストとして本学附属高校の吹奏楽部やシンガーソングライターのAnnaさん、吉本興業の祇園さんと木尾モデルさんにお越しいただき盛況のうちに終えることができました。

学外から訪れた方楽しんでいただけただけでなく、学生からも事前準備も含めとても充実していたとの感想をもらい、大成功であったと感じています。

卒業記念パーティーは、コロナ禍前までの形式から変えてパーティーは完全立食形式にするなど新しいアイデアを盛り込んだ結果、学科を超えた学生の交流も見られました。

以上のとおり、昨年度は学生自治会として十分な成果が上げられたと感じています。特に3年以上が経過したコロナ禍前の資料を見ながら試行錯誤することは大変でしたが、一方で従来のやり方にとらわれず新たな方法も模索できたことにはやりがいがありました。

今年度も4月27日(土)に学生交流イベントとしてボウリング大会を実施し、32名の学生が参加してくれました。

引き続き学生総会や純美禮祭など、在学生の学生生活を充実したものとするため積極的に活動していきます。



強化クラブについて

【ソフトテニス部】2部昇格を目指して

ソフトテニス部 主将 安達 美結(幼児教育保育学科 2回生)

女子ソフトテニス部は現在8人で活動しており、関西学生リーグ3部に所属しています。昨年と比べ部員が増えたことにより練習内容も充実し、一人一人自分の課題と向き合いながらみんなで協力し合い、2部昇格に向けて練習しています。ソフトテニスを楽しみひとつでも多くの勝利を収めるためにチーム一丸となって頑張りますので、応援よろしくをお願いします。



【バレー部】バレー部の活動について

バレーボール部 主将 小林 千夏(生活学科 2回生)

2回生3人と1回生4人で活動しています。現在関西大学リーグ3部に所属しており、3部残留を目標にして戦っています。昨年は近畿総合選手権大会に滋賀県代表として出場しました。少人数ですが、一人一人が自分の役割を果たし、良い結果を残せるよう日々練習に励んでいます。県内の大会にも出場しますので、ぜひ応援に来てください。バレーに興味がある人は体育館を覗いてください。



【新入会員のお知らせ】

令和6年3月15日(金)第53回卒業証書授与式に続いて、同窓会入会式が行われました。副会長より年次評議員代表の森 海斗さんに委嘱状が渡されました。

〈令和5年度 新入会員〉

生活学科 70名
 幼児教育保育学科 83名
 ビジネスコミュニケーション学科 75名
 デジタルライフビジネス学科 15名 計 243名

〈年次評議員〉

生活学科 森 海斗さん、川崎 慎一郎さん
 幼児教育保育学科 奥澤 蘭さん、児島 一哉さん
 ビジネスコミュニケーション学科 田中 優花さん、平山 愛香さん
 デジタルライフビジネス学科 澤田 華さん、中川 美咲さん

〈評議員〉

生活学科 森 海斗さん



【令和6年度 同窓会総会・懇談会について】

平素は同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年も会員の皆さまにお集まりいただき、開催させていただく予定です。どうぞ、お誘い合わせの上是非ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

【日 時】 令和6年9月8日(日) 9:30受付

【日 程】 ○総会 ・令和5年度事業報告及び会計監査報告
 ・令和6年度事業計画及び予算案
 ・令和6年度役員改選について
 ・その他

○製菓実習(エプロン・三角巾・マスク)

○懇談会

【参加費】 1,000円

【申込み】 8月16日(金)までに同封の葉書にてお申込みください。

☆新入会員を迎え、同窓会会員累計も約16,243名となりました。もしかしたら、職場やご近所など身近なところに同窓の仲間がいらっしゃるかもしれません。卒業後も同窓生の繋がりをサポートできる会でありたいと思います。またご意見・ご要望がありましたら、短期大学同窓会担当までご連絡ください。
 連絡先(077-524-3605)

令和6年度ホームカミングデーについて

卒業生のみなさんは是非ご参加ください。詳細はHPでご案内します。

【日程】

生活学科 令和6年8月24日(土) 14:00~16:00
 幼児教育保育学科 令和6年12月8日(日) 10:00~12:00
 ビジネスコミュニケーション学科 令和6年12月8日(日) 10:30~12:00
 デジタルライフビジネス学科 令和6年12月8日(日) 10:30~12:00

後援会の活動について

後援会会長 廣津 幸代

後援会会員のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、後援会活動に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、令和6年度の後援会会長を仰せつかりました廣津幸代でございます。1年間、みなさまと一緒に後援会活動を盛り上げてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

後援会では、学生の福利厚生のための支援、自治会活動やクラブ活動をはじめとする課外活動、就職活動等に対する支援を積極的に進めております。今年度の事業計画と予算につきましては、6月8日(土)に開催しました総会でご承認をいただきました。

令和6年度は、「たくさん食べてね」の思いを込めて、学食支援を行うこととなりました。この支援により、学生たちは学食のメニューの中の人気商品を割引価格で購入することができ、大好評の企画となっております。

また、今年度も後援会は学園祭模擬店への出店を予定しています。昨年度はワッフルと飲み物を販売し、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。4年ぶりの学園祭模擬店は大変な盛り上がりを見せ、学生たちの生き生きとした姿に感動を覚えました。

学生たちのキャンパスライフがより充実したものになるよう、後援会としてできることを会員のみなさまと一緒に考え、活動して参りたいと思っております。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



令和5年度 教育研究・社会活動(2023年4月～2024年3月)

1) 著書

- 中平真由巳 ■(共)新版 トータルクッキング 第2版 講談社サイエンティフィック 3月
- 笹倉千佳弘 ■(共)自分で自分を不幸にしない「性的虐待」を受けた女性の語りから 生活書院 5月
- 菅 眞砂子 ■(共)事例で楽しく学ぶ子ども家庭支援の心理学 中央出版 9月
- 齋藤尚志 ■(共)「地域における教育改革とPTA」の基調報告およびC「小分科会過密・過疎・へき地の教育」の総括 日本教職員組合『日本の教育』第72集 pp.295-7およびpp.300-302 アドバンテージサーバー 6月
- 松村都子 ■(共)『月刊保育とカリキュラム』1歳児指導計画と保育の展開 ひかりのくに 9月
- 穂 寛美 ■(共)AN AMAZING AVENUE FOR THE TOEIC® L&R TEST 400 成美堂 1月
- 伊澤亮介 ■(共)漢字文化辞典 丸善出版 11月

2) 本学研究紀要第49号

- 三上佳子、北尾岳夫、深尾秀一、柚木たまみ、近藤鉄矢
■(共)身体的活動を基盤とした造形・音楽の融合的表現の意義Ⅳ―築山を中心とした環境における幼児の主体的な遊びにみられる身体性をととして―
- 柚木たまみ ■(単)20世紀初期のフランスにおける異文化交流の一樣相
- 江見和明 ■(単)旅行支援人材の育成による社会的ニーズの対応に向けて
- 小笠原寛夫 ■(単)無形民俗文化財のデジタルアーカイブ制作 I

3) 学会発表

- 中平真由巳 ■(単)中央アメリカ ベリーズの食と暮らし 日本調理科学会 12月
■(共)レシピ投稿サイトを利用した「少量の油で揚げる」調理の実態調査 日本調理科学会 12月
- 灰藤友理子、豊岡真莉、中平真由巳
■(共)Developing the practical ability of students responsible for dietary education—through practical activities—21ST ARAHE (Asian Regional Association of Home Economics) BIENNIAL INTERNATIONAL CONGRESS 2023 8月
- 菅 眞佐子 ■(共)一人一人の幼児がどのように探求を深めていくのか―遊びの深まりを捉えながら― 日本保育学会第76回大会 5月
- 松井典子 ■(単)オーストラリアの音楽教育システムに関する研究—Australian Music Examinations Boardに注目して— 日本音楽表現学会 6月
- 伊澤亮介 ■(共)Những lưu ý khi dịch các từ gốc Hán trong tác phẩm Văn tế nghĩa sĩ Cần Giuộc sang tiếng Nhật Hội thảo Quốc tế: Giao lưu văn hóa – văn học Việt Nam với các nước Đông Á thời trung - cận đại 7月
■(単)Khảo sát điển cổ văn học trong tác phẩm “Chàng Sơn di lục [長山遺録]” Hội thảo Quốc tế: Giao lưu văn hóa – văn học Việt Nam với các nước Đông Á thời trung - cận đại 7月
■(単)字喃(チュナム)の形声字における義符と声符の位置関係について 日本漢字学会第六回研究大会 12月
■(単)RỐI NƯỚC VÀ TƯ LIỆU HÁN NÓM VÀ NHỮNG GỢI MỞ TRAO ĐỔI HỌC THUẬT NHẬT BẢN – VIỆT NAM Kỷ niệm 50 năm thiết lập quan hệ ngoại giao Nhật Bản – Việt Nam và hướng tới kỷ niệm 50 năm thành lập Trường Đại học Văn hóa Thành phố Hồ Chí Minh Giao lưu học thuật giữa các nhà nghiên cứu của Trường Đại học Văn hóa Thành phố Hồ Chí Minh và Đại học Osaka Nhật Bản 3月

4) 演奏会・展覧会 等

- 柚木たまみ ■フランス歌曲の流れを辿る全8回 第4回フランス歌曲の珠玉II 青山バロックザール 7月
■F.ファイト作曲 オペラ「卒塔婆小町」世界初演 京都文化博物館別館ホール 7月
- 小笠原寛夫 ■edge type[35°08'26.5"N 136°05'31.3"E (インスタレーション) かわらミュージアム 4月～3月
- 河村梨花 ■大垣中日文化センター主催「私たちの作品展」講師作品として展示 大垣スイトピアセンター 1月
■レース・コレクション 初代モデル(Ricca)とし出演 大阪市中央公会堂 3月
■Mrs of the Year 岐阜大会2024 予選 アーフェリク迎賓館岐阜 2月(ファイナリストとして出場予定)

5) その他の発表

- 柚木たまみ ■20世紀初期のフランスにおける日本文化受容と異文化交流の一樣相(博士後期課程学生自主企画 第2回博・学カフェ ポスター発表) 奈良女子大学 11月～12月
- 松井典子 ■音楽文化研究についてのアーカイブ/トランスナショナルな音楽文化研究についてのアーカイブ(報告) 日本音楽学会西日本支部通信 3月
- 小笠原寛夫 ■Dance Performance LIVE #9 Contemporary Dance Pieces II(ライブパフォーマンス) 神戸ファッション美術館 8月

6) 国際的活動

- 中平真由巳 ■(単)ベリーズ マヤ民族の食文化 踏査 ベリーズ 9月
■(単)チュニジア 乾燥地域の食文化 踏査 チュニジア 2月

7) 社会的活動

- 中平真由巳 ■ラムサールびわっこ大使事業「世代間交流プログラム」調理実習 琵琶湖博物館 8月
■湖っ子食育大賞の書類審査 滋賀県教育委員会 1月
■朝日新聞 湖国・滋賀の食卓 打ち豆汁ー 朝日新聞 2月
■KBS京都 ラジオ放送 近江美味しもの「打ち豆のフロラント」 KBS京都 2月
- 石井 明、久保晶路
■公開講座 高校生のためのお菓子講座「お菓子の基礎を学ぼう」 滋賀短期大学 8月
■公開講座 お菓子の講座「ドイツのお菓子」 滋賀短期大学 8月
■第2回ひらのまつり2023 なぎさ公園 10月
■びわ湖大津プリンスホテル ヘキセンハウス作成、展示びわ湖大津プリンスホテル、滋賀短期大学 11月～12月
- 笹倉千佳弘 ■第29回日教組近畿ブロックカリキュラム編成講座(日本教職員組合 日教組近畿ブロック協議会) アウィーナ大阪 8月
■第73次教育研究滋賀県集會(滋賀県教職員組合) コラボしが 9月
■ふるさと空に唄おう in 盛岡市 ～子育て支援フォーラム～(日本子守唄協会) 盛岡劇場 1月
■第73次教育研究全国集會(日本教職員組合) ホテルアベスト札幌 1月
- 豊岡真莉 ■大津市 ニュージールランドポートチーム交流事業講演会 ゲスト 大津市役所 3月
- 豊岡真莉、岡田香織、灰藤友理子
■滋賀短期大学 公開講座 アスリートのための食事講座 滋賀短期大学 9月
- 岡田香織、依田絵里、西野愛理、中平真由巳
■滋賀短かんたんテレビ動画 6作品 滋賀短期大学 8月
- 西野愛理、依田絵里、岡田香織、豊岡真莉、中平真由巳
■子どもたち考案、草津のオリジナル和菓子作り 草津小学校 2月

- 久米 央也**
- 滋賀県総合教育センター主催「初任者研修 算数科指導の基礎基本」講師 滋賀県総合教育センター 6月、11月
 - 滋賀県保育協議会主催「新任保育者研修会」講師 長寿社会福祉センター 6月、11月
 - 湖南省教育委員会主催「教師力アップ研修～保幼小連携～」講師 石部まちづくりセンター 7月
 - 滋賀県教育委員会主催「学びに向かう推進事業(幼小連携)」指導助言 守山小学校 11月
- 北尾岳夫**
- 滋賀県スキー連盟 総務部長 県内他 4月～3月
 - 京都YMCAスキー専門委員 長野県他 4月～3月
- 柚木たまみ**
- 特別支援学級に在籍する児童に対する音楽療法(大東市教育委員会) 大東市 11月～3月
 - 「音楽会を楽しもう ～みんなの好きな歌～」(滋賀短期大学守山すみれ講座) 滋賀短期大学附属すみれ保育園 12月
- 菅 眞佐子**
- 新大津市幼児教育・保育共通カリキュラム作成会議 大津市役所他 第1回6月、第2回7月、第3回8月、第4回10月
 - 滋賀県社会福祉審議会児童福祉専門分科会里親審査部会 令和5年第1回 滋賀県合同庁舎 10月
 - 大津市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 令和5年度第3回 大津市役所 2月
 - 大津市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 就学前教育・保育施設等審査部会 大津市役所 3月
- 齋藤尚志**
- 日本教職員組合全国教育研究集会第22分科会「地域における教育改革とPTA」共同研究者 北海道札幌市 1月
 - 兵庫県教職員組合兵庫県教育研究集会「小規模・少人数校の教育」分科会共同研究者 兵庫県宍粟市 11月
- 松村都子**
- 幼稚園・認定こども園等新規採用教員研修(滋賀県教育委員会) 滋賀県総合教育センター 7月
 - 公私連携幼保連携型こども園運営法人選定委員会 近江八幡市 10月、11月、1月
 - 0～2歳児の保育を考える(甲賀市)地域移動講座 甲賀市役所 2月
 - 滋賀県保育士等キャリアアップ研修(滋賀県保育協議会) ヒアザ淡海 10月

- 三上佳子**
- 大福寺(甲賀市) はなまつり「花咲か爺さん劇」、「〇×クイズ」、「手遊び」子ども文化アートクラブ 大福寺 5月
 - みんなで子育て大作戦(守山市社会福祉協議会)子ども文化アートクラブ 守山市役所 2月
 - 野洲市子育て支援会議年間5回 野洲市役所 6月、9月、11月、2月、3月
 - 滋賀県保育士・保育所支援センター運営調整委員会 滋賀県保育士協議会 7月、2月
- 冲山圭子**
- 全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員 4月～3月
 - 日本医療福祉実務教育協会専門委員 4月～3月
 - 進路学習における面接講座講師 松原市立第2中学校・第五中学校 11月
 - 社会人マナー講座講師 高石市立高石中学校 12月
- 江見和明**
- 日本消費経済学会 理事 6月～3月
- 田中裕之**
- 「からだと病気のしくみ」(滋賀短期大学守山すみれ講座) 滋賀短期大学附属すみれ保育園 9月
- 若生眞理子**
- 「小学図書館ニュース」小学生のマナーシリーズポスター 紙面監修と付録原稿 株式会社少年写真新聞社 6月、9月、2月
 - 6年目小中学校教諭研修講師 枚方市教育委員会 枚方市立教育文化センター 6月
 - 職場体験のためのマナー講座 大津市立打出中学校 10月
- 伊澤亮介**
- 令和6年度大阪府公立高等学校特別入学者選抜等における作文等の翻訳(ベトナム語の翻訳) 大阪府教育委員会 2月
- 小山内幸治、小笠原寛夫**
- 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 一般社団法人 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」の3Dデジタル化プロジェクト 滋賀短期大学 4月～3月
 - 滋賀県市町振興課 移住者交流会 in 大津 PR動画作成 YUKUMO KAERUMO 大津 NAKAMACHI 3月

大津市無形民俗文化財 「大津絵踊り」の 3Dデジタル化プロジェクト

デジタルライフビジネス学科

特別教授 小山内 幸治

講師 小笠原 寛夫



本学のデジタルライフビジネス学科の教員と学生が、大津市役所・大津絵踊り保存会と協力し、大津市の無形文化財である「大津絵踊り」を3Dデジタル化し、恒久的に踊りを保存するプロジェクトを進めています。踊りの映像から、骨格検出、モーションキャプチャー、3Dモデリングを実施し、3Dデジタル空間上に、踊りを再現する予定です。また、踊りで使用する「面」や「小道具」の3Dデータ化を行い、3Dプリンタでの複製にも取り組んでいます。これが完成すると、踊りをデジタルで保存できるほか、踊りの継承教育に役立てることができます。

就職状況

令和5年度卒業生の就職状況について

キャリア・サポートセンター／キャリア支援課長 中村 治重

令和5年度卒業生243名の就職状況は、就職率98.1%と微増ではあるが前年度を超える良好な結果でした。就活状況は学科・コースにより大きく異なりますが、一般企業の採用活動が年々早まり、また、四年制大学生と同じタイミングで採用活動をする一般企業が増えております。本学学生も四年制の大学生に負けず頑張り、内定をいただいている状況です。生活学科やビジネスコミュニケーション学科では2回生後期が始まる9月末には、過半数以上が内定を得ている状況でした。幼児教育保育学科では、保育士不足の影響もあり求人への引き合いが強く、就職者のうち91.7%の学生が保育士資格や幼稚園教諭免許を活かした専門就職につきました。また、公務員試験に合格し、正規職に就いた学生は全学科で6名、四年制大学（3年次編入）に進学した学生は全学科で5名でした。滋賀県内の優良企業からも多くご採用いただき、滋賀県内の就職率は全学科で82.3%となりました。令和5年度の就職・進学先は次のとおりです。

これからも私たち教職員が一丸となって学生に寄り添い、学生が希望する仕事や会社に就職できるよう、引き続き全力でサポートを行ってまいります。

(令和5年度) 就職・進学先

※就職先 ※順不同、就職先名称は会社形態・法人名称等の省略、園名及び医院名、屋号名で掲載しています。

生活学科

- 【栄養士関係】** 一富士フードサービス(4名)、日清医療食品(3名)、メフォス西日本(2名)、コンパスグループ・ジャパン(2名)、富士産業、メフォス東日本、洛和会ヘルスケアシステム、武田病院グループ、アイグラン、竜ヶ丘保育園(2名)、さくら坂こども園、におの浜保育園、石山寺こども園、湖のこ保育園、若鮎こども園、甲南のぞみ保育園、よどっこ保育園、福知山学園、特別養護老人ホーム菊水ビラ、野村産婦人科、大津市栄養教諭(会計年度)
- 【製菓・製パン関係】** たねやグループ(3名)、パレット(2名)、森トラスト&リゾーツ(2名)、オールハーツ・カンパニー(2名)、八菓子庭縁いせとう、小川珈琲ホールディングス、ドンク、ロマンライフ、デザートランド関西工場、PIECE OF BAKE、うめそのCAFE&GALLERY、ホロニック(セトレマリーナびわ湖)
- 【企業等】** ブロンコポリー(2名)、ミモザキッチン、リノクレスト、琵琶湖汽船、村田製作所、三陽工業、一圓テクノス、長浜信用金庫、トヨタモビリティ滋賀、トヨタレンタリース滋賀、ゲンキー、TBCグループ、エムシーアイ

幼児教育保育学科

- 【公立園※会計年度職員含む】** (滋賀県) 長浜市(5名)、東近江市(2名)、大津市、守山市、多賀町 (福井県) 高浜町(2名)、若狭町
- 【私立幼稚園】** (滋賀県) 愛光幼稚園、甲南幼稚園
- 【私立保育所】** (滋賀県) におの浜保育園、松の実保育園、アスク大津京保育園、専称寺保育園、近松保育園、レイモンド淡海保育園、第二博愛保育園、れもんのこ老上保育園、甲南病院ひまわり保育園、ゆいの里保育園tetote、ふるたか虹のはし保育園、守山市立吉身保育園、こだまふれんど保育園、栗東くじら保育園、柏木保育園、コスモス保育園、わらべ保育園、ひむれ乳児保育所、むつみ保育園、パレット保育園、しらやま保育園 (三重県) みどり保育園
- 【私立こども園】** 第一・第二本福寺こども園、みどりこども園、保育の家しょうなん、石山寺こども園、星の子保育園、学園前こども園、一里山ひかりこども園、志津保育園、渋川あゆみこども園、くるみこども園、さくら坂東こども園、緑波くるみこども園、菩提寺優愛保育園モンチ、阿星あかつき保育園、菩提寺くじらこども園(2名)、もりの風こども園、野洲優愛保育園モンチ(2名)、そらの鳥こども園、ふたばこども園、金城こども園、安曇川はこぶね保育園、藤波こども園 (京都府) 樹辻こども園、吉美こども園、岩屋こども園アカンパニ
- 【施設等】** (滋賀県) 小鳩の家、びわこ学園、野洲市役所発達支援センター
- 【企業等】** しがぎん代理店、しがぎんビジネスサービス、インス、北斗製作所、杉養蜂園

ビジネスコミュニケーション学科

- 【公務員】** 高知県立のいち動物公園
- 【企業等】** 滋賀県信用組合(2名)、滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、しがぎんビジネスサービス(3名)、キステム、大津板紙、たねやグループ(2名)、草津電機、スターライト工業、関西保温工業、桃栄金属工業、スターエンジニアリング、ツカサ、滋賀トヨタ、トヨタモビリティ滋賀、スズキ自販滋賀、滋賀ダイハツ販売、美好、大木会、東びわこ農業協同組合(2名)、北びわこ農業協同組合、ALSOK京滋、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋、ホテルニューアワジ、ビーネックスパートナーズ、ヒューマンアイズ、エディオン、GRIVE、光響、伊丹産業、昭和電機、コメリ、富山交通
- 【医療・医療事務等関係】** 地域医療機能推進機構滋賀病院(2名)、高槻医院、ひの眼科クリニック、瀬田西クリニック、淡海医療センター(2名)、甲南病院、レークケア、セラム、坂本歯科医院、済生会滋賀県病院、豊郷病院、彦根中央病院、いそクリニック、たぎはた眼科(2名)、音羽病院、京都桂病院、千葉西総合病院、真寿会、じゅう楽、ウエルシア薬局

デジタルライフビジネス学科

三ツ星(2名)、しがぎん代理店、しがぎんビジネスサービス、アルピナBI(2名)、パセリエンタープライズ、イオンビッグ、ドゥ・コミュニケーションズ、ベジコープ

進学先 ※ 順 不 同

- 〈生活学科 食健康コース〉** 【指定校】龍谷大学(農学部食品栄養学科)
岐阜女子大学(家政学部健康栄養学科)
熊本総合医療リハビリテーション学院(義肢装具学科)
- 〈生活学科 製菓・製パンコース〉** 【指定校】京都文教大学(総合社会学部総合社会学科経済・経営コース)
- 〈幼児教育保育学科〉** びわこ学院大学(教育福祉学部こども学科)
- 〈デジタルライフビジネス学科〉** 【指定校】京都産業大学(経営学部マネジメント学科)

学校法人純美禮学園の令和5年度決算・財務状況報告について

学校法人純美禮学園の令和5年度決算について、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたのでご報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにしています。
貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものです。

令和5年度決算報告について

事業活動収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位:千円)

| | | 科 目 | 決 算 |
|---------------|-------------|-------------|-----------|
| 教育活動 | 収入の部 | 学生生徒等納付金 | 975,851 |
| | | 手数料 | 28,053 |
| | | 寄附金 | 6,183 |
| | | 経常費等補助金 | 556,965 |
| | | 付随事業収入 | 17,696 |
| | | 雑収入 | 56,203 |
| | | 教育活動収入計 | 1,640,952 |
| | | | |
| | 支出の部 | 科 目 | 決 算 |
| | | 人件費 | 1,083,866 |
| | | 内:退職給与引当 | 5,929 |
| | | 教育研究経費 | 491,483 |
| | | 内:減価償却 | 184,563 |
| | | 管理経費 | 158,040 |
| 内:減価償却 | | 17,024 | |
| 徴収不能額等 | | 1,020 | |
| 教育活動支出計 | 1,734,409 | | |
| 教育活動収支差額 | △ 93,457 | | |
| 教育活動外収入 | 収入の部 | 科 目 | 決 算 |
| | | 受取利息・配当金 | 65,116 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 |
| | | 教育活動外収入計 | 65,116 |
| | 支出の部 | 科 目 | 決 算 |
| | | 借入金等利息 | 3,733 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 3,733 |
| 教育活動外収支差額 | 61,383 | | |
| 経常収支差額 | △ 32,074 | | |
| 特別収支 | 収入の部 | 科 目 | 決 算 |
| | | 資産売却差額 | 17,070 |
| | | その他の特別収入 | 108,676 |
| | | 特別収入計 | 125,746 |
| | 支出の部 | 科 目 | 決 算 |
| | | 資産処分差額 | 2,999 |
| | | 内:図書除却損 | 2,999 |
| | | その他の特別支出 | 0 |
| 特別支出計 | 2,999 | | |
| 特別収支差額 | 122,747 | | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 90,673 | | |
| 基本金組入額合計 | △ 314,007 | | |
| 当年度収支差額 | △ 223,334 | | |
| 前年度繰越収支差額 | △ 1,722,038 | | |
| 基本金取崩額 | 0 | | |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 1,945,372 | | |

(参考)

| | |
|---------|-----------|
| 事業活動収入計 | 1,831,813 |
| 事業活動支出計 | 1,741,141 |

貸借対照表

令和6年3月31日 (単位:千円)

| | | 科 目 | 本年度末 |
|-------------|-----------|----------------|-----------|
| 資産の部 | 固定資産 | (5,630,247) | |
| | | 有形固定資産 | 3,985,983 |
| | | 土地 | 369,348 |
| | | 建物 | 2,750,539 |
| | | 構築物 | 236,366 |
| | | 教育研究用機器備品 | 326,524 |
| | | 管理用機器備品 | 29,515 |
| | | 図書 | 272,147 |
| | | 車両 | 1,545 |
| | | 特定資産 | 1,641,972 |
| | | 第3号基本金引当特定資産 | 394,672 |
| | | 退職給与引当特定資産 | 115,073 |
| | | 減価償却引当特定資産 | 1,130,893 |
| | | 保育施設整備引当特定資産 | 1,333 |
| | その他の固定資産 | 2,293 | |
| | 施設利用権 | 1,546 | |
| | 電話加入権 | 646 | |
| | 保証金 | 100 | |
| | 流動資産 | (707,917) | |
| | 現金預金 | 519,799 | |
| | 未収入金 | 185,750 | |
| | 貯蔵品 | 28 | |
| | 前払金 | 2,341 | |
| 資産の部合計 | 6,338,165 | | |
| 負債の部 | 固定負債 | (849,352) | |
| | 長期借入金 | 599,940 | |
| | 退職給与引当金 | 249,412 | |
| | 流動負債 | (340,922) | |
| | 短期借入金 | 44,440 | |
| | 未払金 | 62,281 | |
| | 前受金 | 213,620 | |
| | 預り金 | 20,582 | |
| 負債の部合計 | 1,190,275 | | |
| 純資産の部 | 基本金 | (7,093,263) | |
| | 第1号基本金 | 6,582,258 | |
| | 第2号基本金 | 1,333 | |
| | 第3号基本金 | 394,672 | |
| | 第4号基本金 | 115,000 | |
| | 繰越収支差額 | (△1,945,372) | |
| | 翌年度繰越収支差額 | △1,945,372 | |
| 純資産の部合計 | 5,147,890 | | |
| 負債及び純資産の部合計 | 6,338,165 | | |

■ 私の青春時代

ビジネスコミュニケーション学科 教授 田中 裕之

小学生の頃までは外で虫を採ったり、家で一人漫画を読んだり描くことを好んだ私は、中学生以降、部活一辺倒となる。中学・高校で野球部、大学はラグビー部と、ゴリゴリの体育会運動部に所属。振り返ると、部活で学んだことは多かった気がする。団結と自己犠牲、忍耐と要領、リーダーシップとフォローシップ、勝利への執念、グッドルーザーとしての振る舞い方、あきらめない心とあきらめた仲間への思いやりなどなど。そして、部活を通じて得た何よりの幸運は、生涯の友と思える仲間である。こればかりは得ようと願っても叶わない。どこかの高校野球の監督が優勝インタビューで語っていた通り「青春は密」である。部活という、ある意味特殊で閉鎖的な社会環境のもと、長く濃厚な時間を共有したからこそできたつながりが、今になってなお有り難い。

昨年までのコロナ禍で中止となった学生の大会は多い。特に、春の甲子園大会中止のニュースには、当事者たちの気持ちを考えて我がことのように胸が痛んだ。戦時以来、初めてという。日常が戻った昨今、学生諸君には密な青春が送れることを願って止まない。



▲医学生時代の西日本ラグビー大会。ハーフタイムの円陣で仲間を鼓舞する筆者。主将で臨んだ4回生時、気合を示すため高校球児よろしく丸刈りで臨んだが……。ラグビー界では受け入れられず、冷笑された(髪の毛も頭部を守る立派な防御機能)。



2号館231教室、リニューアル!



231教室は昭和51年(1976年)に図書館棟3階に特別大講義室として建設された階段教室です。令和6年5月に天井部分の耐震補強工事に着手し、合わせて『里山教室』をコンセプトに改修工事を行いました。

これまでの固定机とイスを取り除き、琵琶湖へ続くくだらかな棚田とあぜ道をイメージした階段状のカーペットフロアとしました。

空調設備も整え、高い天井と明るい室内、そして大きな窓からは大津の街、琵琶湖の景色を眺められる多目的な空間へと生まれ変わりました。

大学へお越しの際はぜひご覧ください。

令和5年度教職員学長表彰について

滋賀短期大学教職員学長表彰制度規程に基づき、令和5年10月5日(木)教授会において、以下の教員が表彰されました。学長から、表彰状と副賞(特別研究費)が授与されました。

幼児教育保育学科 北尾 岳夫 教授
外部資金(科学研究費)獲得において特に貢献があった者として表彰

ラーニングサポート・センター
兼ビジネスコミュニケーション学科 伊澤 亮介 講師
専門領域において博士の学位を授与されたことによる表彰



寄附報告

令和5年7月1日から令和6年6月30日までの間に、滋賀短期大学教育研究充実基金に2件のご寄附を賜りました。

ここにご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

小林 由加子 様
吉田 英史 様

また、太田 美穂子 様からは電動自転車のご寄附を賜りました。教職員で大事に使わせていただきます。

令和6年度学校法人純美禮学園永年勤続職員表彰について

学校法人純美禮学園永年勤続職員表彰規程に基づき、短期大学では次の職員が表彰されました。

小杉 ゆう子 総務課長兼教務課長(勤続15年)

人事異動(教員の退職・採用等)

退職

| | | | |
|--------------|-----------------|-------|--------|
| (令和5年9月30日付) | 生活学科 | 講師 | 灰藤 友理子 |
| (令和6年3月31日付) | 生活学科 | 教授 | 石井 明 |
| | 生活学科 | 教授 | 笹倉 千佳弘 |
| | 生活学科 | 特任助教 | 豊岡 真莉 |
| | 幼児教育保育学科 | 准教授 | 三上 佳子 |
| | ビジネスコミュニケーション学科 | 特任准教授 | 菘 寛美 |
| | ビジネスコミュニケーション学科 | 特任助教 | 清水 美里 |
| | デジタルライフビジネス学科 | 特任講師 | 河村 梨花 |

新規採用

| | | | |
|-------------|----------|------|-------|
| (令和6年4月1日付) | 生活学科 | 教授 | 濱田 尚美 |
| | 生活学科 | 助教 | 白木 理恵 |
| | 生活学科 | 特別教授 | 石井 明 |
| | 幼児教育保育学科 | 特任助教 | 佐々木 瞳 |

異動・昇任

| | | | |
|-------------|---------------|------|-----------------|
| (令和6年4月1日付) | 幼児教育保育学科 | 教授 | 齋藤 尚志(准教授) |
| | デジタルライフビジネス学科 | 特任講師 | 仲村 恭子(附属高等学校教諭) |

事務局改組 令和6年4月から総務課、教務課、学生支援課、キャリア支援課、入試広報課の5課編成となりました。総務課、教務課は旧総務課の部屋、学生支援課、キャリア支援課、入試広報課は旧学務課の部屋で執務しています。

学報は年1回発行です。
最新の学校情報や行事、
ニュースはHPから
ご覧ください。

